

豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまちづくり 常陸大宮市合併3周年記念式典

常陸大宮市誕生3周年を祝い、10月16日に常陸大宮文化センター大ホールにおいて、市民など約420人が参加し、「常陸大宮市合併3周年記念式典」が盛大に行われました。

記念式典では、3周年に対する感謝と、これからの協働による一体的なまちづくりについて、矢数市長が式辞を、駒田市議会議長があいさつを、それぞれ述べられました。その後、市民憲章と市の花・木・鳥の制定の経過について、総務部長による説明後、主催者と来賓により制定記念プレートの除幕が行われ、幕が引かれた瞬間、会場は大きな拍手につつまれました。



▲主催者と来賓による記念プレートの除幕

続いて、市の花「ばら」木「さくら」鳥「かわせみ」の選定理由について、

市のシンボル等選定委員会の菊池委員長から、市民憲章の内容について、市民憲章検討委員会の野上委員長からそれぞれ説明されました。制定された市民憲章を、野上公雄委員長の先導により、出席者全員が声高らかに唱和しました。

また、市の花・木・鳥の制定にあたり、市民の皆様より応募いただきました459件の中から、「ばら」「さくら」「かわせみ」に応募され、厳選なる抽選により、当選された方々に記念品をお贈りしました。

贈呈後、県知事、国會議員、県議会議員など来賓の方々の祝辞をいただき、盛会のうちに幕を閉じました。

記念式典後には、オカリナ奏者の宗次郎さんによる「里山に響く土の笛の音色」と題した、ミニライブを行い、素敵な語りと優しいオカリナの音色を聴かせてくださいました。



▲オカリナ奏者 宗次郎さんによるミニライブ

常陸大宮市の花木鳥

市の花「ばら」



気品高く情熱ある美しい花は、市を愛する市民の心と幸せのシンボルとしてふさわしい花です。

市の木「さくら」



市民の優しい心と、希望に満ちた明るい未来を築きあげるシンボルとしてふさわしい木です。

市の鳥「かわせみ」



鮮やかな色彩から「溪流の宝石」と呼ばれ、市の豊かな自然のシンボルとしてふさわしい鳥です。

わたしたちがつくるまちの姿

— 常陸大宮市市民憲章 —

常陸大宮市は、緑豊かな自然環境に恵まれ、素晴らしい歴史と文化のもとで発展してきました。わたしたちはこの自然、歴史、文化をいかし、安全で、快適で、活力あるまちを、みんなの手でつくりまします。

- 一、豊かな自然をいつくしみ、安らげるまちをつくりまします。
- 一、歴史と文化を大切にし、誇り高いまちをつくりまします。
- 一、一人ひとりが知恵を出し、暮らし、仕事、いのちが輝くまちをつくりまします。
- 一、さまざまな人たちとの出会いと交流が楽しめるまちをつくりまします。
- 一、尊重しあい、助けあい、みんなの未来をひらくまちをつくりまします。

常陸大宮市民号出発



合併3周年を記念し、市民相互の親和と水郡線の活性化及び利用促進を図るため、専用列車を利用し、東京での観劇を楽しむ、「常陸大宮市民号」が10月20日、常陸大宮駅から運行されました。出発にあたって、常陸大宮駅で矢数市長と常陸大宮駅長によるテープカットが行われ、列車内では市長からの挨拶の後、駅長と共に各車両を巡り参加者と挨拶を交わし親睦を深めました。市民号は、市として始めての運行となりますが、283人が参加。東京都中央区明治座において『大奥』を鑑賞しました。テレビドラマのイメージそのままに豪華絢爛な歴史絵巻が繰り広げられ、参加者から拍手喝采が起るなど、参加された方は大変満足されたようです。

おめでとうございます

文部科学大臣表彰を受賞

平成19年度生涯スポーツ優良団体及び生涯スポーツ功労者として、本市より美和ユニークス（代表 河野秀男さん）と安野茂雄さん（北町）が文部科学大臣より表彰を受けました。

美和ユニークスは、ニュースポーツであるインディアカのクラブで、平成8年に設立。市民インディアカ大会等を開催しているほか、地域の小学校でのレクリエーション指導等のボランティア活動等が高く評価され表彰されました。



▲美和ユニークスの皆さん

安野茂雄さんは、昭和45年から茨城県陸上競技協会副会長等を歴任し、また、昭和62年からは（財）茨城県体育

協会副会長等を歴任し、本県スポーツの競技力向上・スポーツの振興に貢献したことが認められ表彰されました。



人命救助で表彰

市消防本部は、10月25日、舟木悦子さんに感謝状を送りました。

舟木悦子さん（志村大宮病院勤務看護師）は、9月29日午後6時頃常陸大宮市野口地内で発生した交通事故現場に駆けつけ、負傷者に心肺蘇生を実施し、呼吸を再開させ人命救助に貢献した功績により相沢消防長より感謝状が贈呈されました。



▲表彰を受ける舟木さん

善意をありがとう

《常陸大宮市へ寄付》



浜ちゃんコンペ
金200,000円

《奨学基金へ寄付》



（有）瑞穂農場
（会長 下山好夫）
金500,000円



ボンド商事 株式会社
（代表取締役社長 小黒正義）
金146,000円

順不同・敬称略

砂川 豊朗
金500,000円

交通安全キャンペーン

9月21日、小舟地域の国道293号かざぐるま前で交通安全街頭キャンペーンが行われ、緒川地区交通安全母の会ほか、地域の交通安全関係者の皆さんから行き交うドライバーに安全運転の呼びかけを行いました。



全国地域安全運動

街頭キャンペーン

10月11日から20日までの10日間、全国地域安全運動が実施されました。当日は、大宮地区防犯協会をはじめ大宮警察署など関係団体の協力のもと、ジャスコ常陸大宮店店舗前で啓発物の配布や防犯の呼びかけなどを展開し、買い物に来た方を中心に地域安全を呼びかけました。



安全な生活のために

9月19日、第3回大宮警察署協議会（龍崎会長）が、大宮警察署で開催されました。

この協議会は、海老沢署長をはじめとした警察官21人と龍崎義光さん、生天目巴江さん、大森一二さん、岡崎忠孝さん、柴田雅則さんの元自治体関係者など5人の方々から構成され、市民の方々から警察署の業務運営に関して意見をもらい、反映させるために協議運営を行うものです。

当日は、自転車が安心して通行できる歩道等の整備、凶悪事件発生を未然に防止するための対策、警察署再編整備構想などについて話し合われました。



地上デジタル放送説明会

2011年7月から現在放送しているアナログテレビ放送から地上デジタル放送に変わることから、地上デジタル放送に関する説明会が、9月27日、緒川総合センターで行われました。

当日は、約100人とおくの方々が集まり、総務省の方やNHKなどの方から地上デジタル放送の概要や共同受信施設での地上デジタル放送の受信方法についてなどの説明があり、熱心に聞いていました。

また、多くの質問が出され、地上デジタル放送に対する関心の高さが伺われました。



広報協力員レポート

中山 さち子さん（三美）

ふるさと女性大学「葦の会」交流会に参加して

今年で10回目を迎え、その節目として、10月2日、130人の出席のもと「葦の会」交流会が水戸京成ホテルにおいて開催されました。

主催者、来賓のあいさつに始まり、「葦の会」終了生2人の活動状況発表、また、神戸礼子先生の「地域に支えられて」という記念講演もありました。講演では、輝いて生きる女性のあり方やマイナス思考を避けプラス思考で生きる人は、その人なりの余韻を残せる（私らしさ）であるなど、大変ためになるものでした。

最後に県知事を囲んでの記念パーティーがあり、和やかに雰囲気の中、多くの方たちとふれあい、楽しい時間を過ごすことができました。毎年開かれている「葦の会」に入会して、バラエティーに富んだ講師陣の勉強会（月1回、半年）に、参加してみたいかがですか？良い勉強になりますよ。

※葦の会とは、地域づくり、ふるさとづくり運動の強化と発展のため、それを担う自主性と創造力を持った女性リーダーを育成に資する事業です。

